

令和6年度 学校関係者評価報告書

大阪市立立葉幼稚園学校協議会

1 総括について評価

協議の結果、年間を通しての様々なアンケート結果の分析や、子どもの様子などから見て、目標を上回っての達成と判断できる。自己評価も妥当であった。今後さらに、教育内容の充実と発信に努めてほしい。

2 年度目標ごとの評価

【安全・安心な教育の推進】

○今年度の保護者アンケート調査で、「園は安全指導を通して、子どもが幼稚園生活の約束やきまりを守ろうとする意識を育んでいる」の項目、「園は教育活動を通して、子どもが親しみをもって挨拶をするよう指導している」の項目、「園は一人一人の子ども理解に努めている」の項目について、「そう思う（だいたいそう思う）」と回答する保護者の割合を、全園で85%以上にする。

○達成状況の評価に関しては妥当である。安心安穏な教育の推進の保護者アンケート結果のうち、2項目においては、肯定的な意見が100%、1項目においては98%と成果をあげることができた。

安全教育では、幼児の実態に合わせた指導や訓練の方法について工夫しながら行った。挨拶の指導では、親子挨拶当番や年間を通しての幼児の挨拶当番を継続して実施した。また、学期に1回の園内委員会に加え、月1回程度の特別支援園内研修会を行い、幼児一人一人の実態や支援方法の共有を行い、教職員の幼児理解や支援への共通理解を深めた。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

○今年度の保護者アンケート調査で、「園は就学前教育カリキュラム等に基づいた教育内容の充実を図っていますか」の項目、「園は子どもが自然とのふれあいや直接体験など多様な体験を大切にしていますか」の項目、「園は子どもに生活習慣などの指導をし、健康的な生活が送れるよう努めていますか」の項目について、「そう思う（だいたいそう思う）」と回答する保護者の割合を、全園で85%以上にする。

○達成状況の評価に関しては妥当である。未来を切り拓く学力・体力の向上の保護者アンケート結果のうち、2項目においては肯定的な意見が100%、1項目においては98%と成果をあげることができた。就学前教育カリキュラムに基づいた教育を行うとともに、保護者への周知を行ったことで、理解が深まった。また、さまざまな遊びを通して多様な体験を経験できるよう環境構成や教材研究などを行い、保育内容の充実を図った。保健指導では、担任と連携して指導内容を工夫し、個別に保護者への啓発を行った。

【学びを支える教育環境の充実】

○今年度の保護者アンケート調査で、「園は、ICTなどの機器を活用し、より分かりやすい保育に取り組んでいると思いますか」の項目、「園は、ホームページなどで教育内容を分かりやすく発信していると思いますか」の項目、「お子さんは、絵本が好きですか」の項目について、「そう思う（だいたいそう思う）」と回答する保護者の割合を、全園で85%以上にする。

○今年度の教職員アンケート調査で、「自らの働き方を見直す機会をもつことができたと思いますか」の項目について、「そう思う（だいたいそう思う）」と回答する教職員の割合を、全園で85%以上にする。

○達成状況の評価については妥当である。学びを支える教育環境の充実の保護者アンケート結果のうち、肯定的な意見が2項目において100%、その他98%、96%と成果をあげることができた。

ICT機器の保育への有効な活用方法を工夫した。有効に活用することが難しく、今後も教材研究が必要である。HPを1日1回程度更新し、教育内容の発信に努めた。QRコードを活用するなど、HPの周知も図ったことで、未就園児などにも発信することができた。

3、今後の学校運営についての意見

- ・安全・安心な幼稚園環境を整え、子どもも保護者も安心して登園できる幼稚園運営に努め、子どもたちのために質の高い教育を提供し続けていってほしい。
- ・地域の中の幼稚園の役割として、地域とのつながりを今後も意識し、無理のない形での交流活動を工夫していってほしい
- ・ICTの活用は幼稚園教育の中で必要かどうか、疑問である。小学校や中学校とは違うので、無理なくすすめてほしい
- ・園の教育内容がとても充実しているが、外部の人に伝わっていないと感じる。情報発信に努めていくべきである。